

**令和6年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和6年12月  
海老名市立柏ヶ谷中学校**

令和6年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語、数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

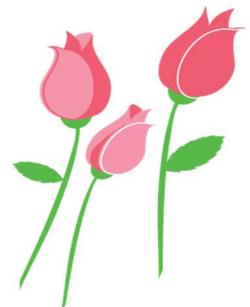
### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和6年4月18日(木)

※生徒質問調査(一部)について、生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



# 中学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- 話し合いにおいて、必要に応じて質問したり資料を用いたりして話の内容を捉えることができます。
- 具体と抽象、全体と部分などの関係に注意しながら文章を読むことができます。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができます。
- 文脈に即した漢字を、その漢字の意味を正しく理解して書くことができます。

### ◆課題のある点

- 話し合いの話題や展開を正しく捉え、他者の発言と結び付けて自身の考えをまとめることに課題がみられます。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること、図の役割を理解することに課題がみられます。
- 行書への理解に課題がみられます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 「ICTを活用した調べ学習や情報収集」「ワークシート」を通じて身に付けた知識・技能を、「グループワーク」「個別の振り返り課題や学習の反省」で思考・判断・表現できるよう指導します。これらを通じて主体的な思考に基づいた読解力の向上を図ります。
- 他者の意見と結び付けて自分の考えが表現できるよう、話し合い活動の場を増やし、より多くの考えに触れる機会を提供します。
- 文章の種類や内容、用いられている資料を適切に読み取り、それぞれの関係や意味を理解できるよう、日常生活における読書を推進するとともに、論理的読解に必要な知識・技能の向上を目指します。

# 中学校 数学

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすることができます。
- 与えられたデータから最頻値を求めることができます。
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができます。

### ◆課題のある点

- 複数の集団のデータの分布傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられます。
- 筋道を立てて考え、証明することに課題がみられます。
- 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことに課題がみられます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられたため、グループワークやペアワークを通じてお互いの考えを深め合う活動を授業に取り入れます。
- グラフから事象を数学的に捉え、解釈することについてはよい結果がみられたため、生徒間での教え合いや説明し合う活動を取り入れた授業を継続していきます。

# 生徒質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度上回っています。学校全体として取り組んでいる「主体的・対話的な学習活動」が、各教科や総合的な学習の時間などでも生かされていると考えます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○昨年度と同様に、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度下回っています。生徒一人ひとりが学習した内容の定着を図るだけでなく、教員がさらに「わかりやすい授業」を意識し、生徒と対話していくことが必要と考えます。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

○「将来の夢や目標を持っていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が県の平均より上回っています。また、「友達関係に満足していますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合が県の平均より上回っています。日頃の学校生活全般にわたる教育活動の成果として、将来に展望をもち、友達関係に満足している生徒が多いと考えます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか」に「している」と回答した生徒の割合が全国平均より約 10 ポイント程度下回っています。自分自身がより健康に過ごすことができるように、授業や学校で学んだことを「自分ごと」として捉え、自分自身の生活に結び付けられるよう工夫をする必要があります。

## 今後の具体的な取組について

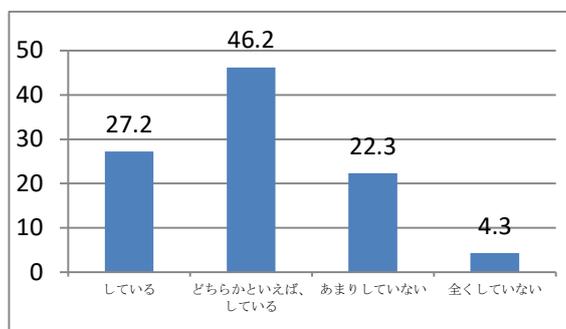
- 生徒一人ひとりが学習内容の定着を図るために、教員が「わかりやすい授業」を実現し、一人ひとりとの対話の時間を大切にしていきます。
- 昨年度に引き続き、「自立」「共生」「豊かな心」の学校教育目標三本柱を具現化するため、生徒が充実感や満足感が得られるような、自治活動(行事、生徒会活動、部活動等)の取組を充実させていきます。
- 学校からスマートフォンの使用や SNS の危険性について情報発信を行い、家庭でのルールづくり等につながるよう働きかけていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

## 1 規則正しい生活を続けていきましょう。

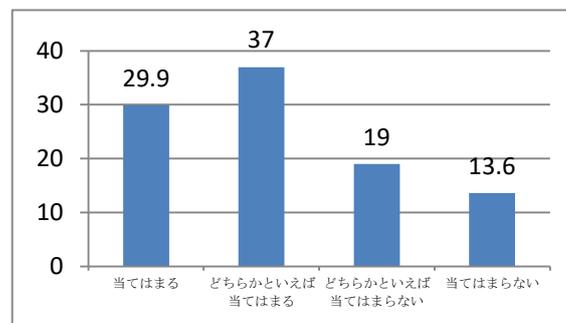
「早寝早起き朝ごはん」は生活全体のリズムを保つうえでも大切です。1日活動するための脳や体の準備ができるだけでなく、睡眠の質を高めることができます。



毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか

## 2 将来の夢や目標について、語り合きましょう。

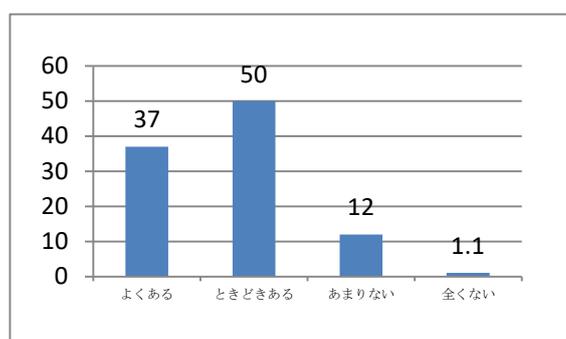
日常の学習や生活の中には、子どもの夢や将来につながるものがたくさんあります。ご家庭でも自分の興味のあることや得意なことにたくさん触れ、将来の夢や目標について語りあってみてください。



将来の夢や目標を持っていますか

## 3 心と体をリフレッシュできる時間を共有してください。

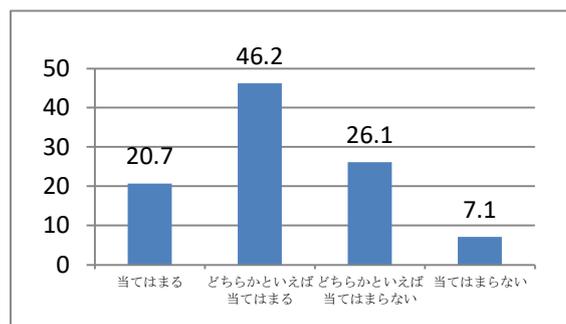
子どもは、普段の生活の中で様々なことを学び、経験しています。その中で不安や悩みもたくさん生まれます。明日からの生活を前向きに送れるように、ご家庭でリフレッシュできる時間をぜひ共有してください。



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれぐらいありますか

## 4 地域や社会に貢献できるように心がけましょう。

お互いに支え合い、助けあうことで社会は成り立っています。まずは、スモールコミュニティである「地域」のボランティア活動などに積極的に参加しましょう。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

## 文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

### 1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

### 2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

### 3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

### 4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

### 5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

## 海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」  
**誰ひとり取り残さない教育**  
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

### ≪①授業改善の実践≫

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 子どもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】  
海老名市教育委員会教育支援課 指導係  
電話 046-235-4919